

県労連

あおり

2019年10月5日 第349号

発行所 青森県労働組合総連合（青森県労連）
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234発行人 青森県労働組合総連合（毎月5日発行）定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

子どもから高齢者まで犠牲にする「社会保障改革」

安倍首相は、自らを議長とした「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げ、労働や年金・医療・介護などの社会保障のさらなる改善を狙っています。

社会保障制度改悪の狙いは会議の構成員からして明らかです。労働界や年金・医療・



昨年の社保協県内キャラバン

介護の現場の専門家が誰一人入っていません。経団連の中西会長、経済同友会の

桜田代表、政府の各種審議会会長などで占められています。検討会議は年末に中間報告、来年夏には最終報告をだし、通常国会に順次改悪法案を提出するとしています。

年に向けて社保協保障制度の改悪を強行しようとしています。政府が改悪を検討していると報道されている主な項目は次の通りです。

①厚生年金のパート等への適用拡大、在職高齢年金制度の見直し、年金の繰り下げ受給②要介護1と2の介護は、1割の自己負担とケアプラン作成の自己負担の導入③75歳以上の医療費の2割への引き上げ、薬の公的医療保険適用の見直しなど目白押しです。

トランプ言いなりの日米貿易交渉合意

食と農を守る青森の会は日米貿易交渉大枠合意に反対する街宣行動を9月12日さくら野前で行いました。トランプ大統領が「アメリカの農家、酪農家にとって極めて大きな成果だ」と勝利宣言した8月25日の日米貿易交渉、日本政府は内容を一切明らかにしない中、米側は「成長ホルモン漬け」の牛肉、必ず残留農薬がでる「小麦」のほか、豚肉、乳製品、ワインなどの関税大幅引下げを成果とし、ラ

イトハイザー通商代表部は、米国産農産物の輸出が1・5倍化（約7200億円増）、自動車関税撤廃は反故、別枠で遺



9/12青森市内の街宣

自民党あげての改憲策動

安倍首相は、改憲シフトを敷いた第4次内閣改造と党の役員人事を発表しました。安倍首相は、「わが党の長年の悲願である憲法改正を、党一丸となって強くすすめていきたい」と並々ならぬ決意を表明しました。

閣僚20名中、12名が日本会議国会議員懇談会に所属しています。この懇談会の幹事長で中心人物の名うての改憲論者の衛藤首相補佐官を沖縄北方大臣、高市総務大臣、萩生田文科大臣に任命しています。党人事では稲田朋美を幹事長代行、下村博文を選対委員長と安倍腹心で固め、改憲を強行しようとしています。

自公政権は、臨時国会では継続審議になっている憲法改正手続きを定める国民投票改正案を野党の分断を図りながら成立させ、通常国会で憲法改正の国会発議

を狙っています。

県9条の会は、3000万人署名が提起されてから青森市の繁華街で月3回の街頭宣伝・署名活動を継続して取り組んできました。9月26日にも取り組み26筆を集約、今年1月からの累計は676筆に到達しました。継続は力です。3000万人署名を職場・地域から展開することが求められています。



9/26の三〇〇〇万人署名

10・4から県最賃790円へ

2019年の青森地方最低賃金が10月4日から適用されます。今年は、中央最低賃金審議会の示した目安（26円引き上げ）を2円上回る28円引上げ、790円となりました。各地

方最低賃金審議会では、Bランクの兵庫、Cランクの福岡、新潟、和歌山、山口、徳島の5県（35・7%）、Dランクの13県（81・3%）



月1回の青森市内の署名行動

と、合計19県（38・3%）が中央最低賃金審議会の目安に上乗せする答申を行いました（昨年は23県：48・9%）。Dランクの多くは、2年連続で上乗せの答申を行い、なかでも全国単独最下位だった鹿児島では、Aランクの28円を1円上回る29円引き上げを答申しました。そのため、最高と最低の実額差224円が223円へ1円縮小しました。これは2007年の最低賃金法改正後で初めてです。2019年県最賃の適用が4日後に迫る9月30日、県労連は2019年最賃の改訂周知と、生計費調査に基づく全国一律最賃制度の必要性を訴える街頭宣伝を実施しました。経営者団体等が中小企業の倒産を懸念する点については、日本の中小企業支援は諸外国に比べると、無いに等しいこと、諸外国並みの中小企業支援を実施するならば、最低賃金の大幅引き上げと全国一律最賃制は可能であると訴えました。

むいてもむいても隠ぺい、ねつ造、改ざんなどの疑惑がでてる「てんこもり安倍政権」はそっちのけに、韓国のチョ・グク氏を「タマネギ男の疑惑」と報道するマスコミは、権力の監視の役割を逸脱しています。一方で新聞労連が「戦前の過ちを繰り返さない。かつて商業主義でありたてた報道の罪を忘れてはならない」とし、今こそ「嫌韓をおおる報道と決別しよう」とした表明は、歴史の真実に向きあう世論として広がっています。

日韓関係の悪化は、昨秋の韓国の最高裁判決で元「徴用工」に対する損害賠償を日本の企業に命じたことから始まっています。安倍首相は、「国際法違反」と非難、これは日本会議などの歴史修正主義者と一体となって、朝鮮への侵略と植民地支配を正当化する安倍首相にとって「徴用工判決」は、歴史の真実が明らかになることを恐れたものです。

「韓国は国際ルールを守らない国」と印象操作しながら、貿易で「ホワイト国」からはすすという手法は、日本国民に反韓をもたせるものです。「アメリカには言いなり貿易」「韓国には圧力。侵略戦争と植民地支配」には反省と謝罪もない安倍政権を退陣に追い込むことで国際的な信頼を得ることが出来ます。

（柳谷）

植民地支配の蛮行 ―慰安婦・徴用工―

9月15日、青森市で「慰安婦」・徴用工問題と私たち」と題して、大森典子弁護士による講演会が開催され、県内各地から140名が参加しました。

大森さんは、90年代から「慰安婦」問題の解決に尽力してきました。

国民徴用令は国家総動員法の勅令の一つとして出されたもので、植民地支配に

講演する大森典子弁護士



大森さんは、韓国大法院の「徴用工判決」を契機に、戦後日韓関係が最も悪くなっている事態を説明しました。また大森さんは、①1965年の日韓請求権協定は国家間の問題であり、個人の請求権は拘束されない。これまで西松建設は最高裁判決(原告敗訴)に関わらず慰謝料として支払う②政府は、植民地支配による奴隷労働させた加害

働き続けられる職場を 医労連大会

青森県医労連は8月27日、青森市内で第61回定期大会を開催、代議員・役員など50名が参加し、活発な討論をおこないました。来賓として、青森県労連から柳谷副議長に出席いただき

安心できる医療・介護・福祉の発展を期する。柳谷副議長は、安全で安心できる医療・介護・福祉の発展を期する。柳谷副議長は、安全で安心できる医療・介護・福祉の発展を期する。

の歴史の謝罪③強制労働事件の解決のための企業間による基金作りで被害者の救済④政府は韓国への制裁を解除し新しい日韓関係を構築することを訴えました。

安倍首相は、「慰安婦」問題について、「強制連行はなかった」「性奴隷ではない」「戦争犯罪ではない」の立場から被害者に対して謝罪を拒否している。

大森さんは、政府が被害事実を認めて謝罪し被害者の名誉と尊厳を回復することが重要であると指摘しました。

柳谷副議長は、この一年の奮闘と、たたかいの貴重な成果や教訓が各組織から力強く報告されました。未来を切り開く向こう一年の運動方針と新たな役員体制を確立し、平和のもと誰もが人間らしく暮らせる社会を実現するため、安倍政権を退陣に追い込み、改憲策動に終止符を打つ決意と奮闘を参加者全員で固めました。



一族支配の 福祉法人！

社会福祉法人健誠会は、東京都からの障害者をうけ

いれる施設やグループホームなど多くの複合施設を持っている法人で、従業員は200人位です。B会長と一族支配の横暴に対し4月に組合を結成しました。発端は、B会長の長男が勝手に人事異動をやり、配転させられた一人がいじめられノイローゼになった事で

した。心の病気は生死にかかわる」とA理事長に申し入れ、同感だと配転を撤回しました。この理解あるA理事長は東京都の監査が終わった6月末の期限で退職しました。

円の退職金を要求して辞めた83歳のB元会長が理事長に復帰しました。今回の団体交渉はB会長所から他事業所に資金移動した自らの責任を被せる為にやった2年間の執拗なパワハラに対してです。謝罪と退任を要求、山場を迎えています。(ひだまり・鎌田)

これからの予定

●県社保協自治体キャラバン
10月28日から11月初旬
40自治体を訪問、医療介護、年金・教育問題等で懇談

●いのちのとりで裁判
第10回首頭弁論
11月1日(金) 14時



月一度ほど

機関紙を届けていただいています。皆様の活動に接する大切な「通信」と「パズル」を楽しみにしております。ご健康に留意してご活躍を！(古館瞳・年金者組合)

今年の夏は西日本へ行き

鳥取砂丘を登山？しました(笑)。大きな丘を下り、砂の急斜面を登りきると途切れることのない大きな日本海がとてもしきれ

第347回 クロスワード パズル

ザ★クロスワード



ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などを、ぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

●締切 11月15日
●発表 12月号
●宛先 〒030-0852 青森市大野字若宮165-119。FAX、メールは欄外に表記。

【ヨコの力】
①秋の味覚です
③タイ王国の首都
⑥床屋。……店
⑧食用蛙の別名は……蛙
⑨つり合い。……のとれた美しい身体
⑪可愛いじらしい。純情……少女
⑫鉛筆の中心にあります
⑬力士のようなからだ
⑮その土地だけの麦酒
⑰昔話「……切雀」
⑲……の子は……
⑳……を立てて芝居を続行
㉑狛師が山へ……に行く
㉓10月の異称は……月

【タテの力】
①船を港につなぐための岸から突き出した橋
②海の「……スポーツ」
③ドストエフスキーの小説「罪と……」
④日本では65歳以上の人
⑤……さんたん。……談
⑦しわがれ声。……ボイス
⑩女性用の肌着
⑪……思い。……いなか。……仮名
⑭首都はアンマン
⑯都会に林立しています
⑰最近ではアプリでも呼べます

⑲一本足で立っています
⑳キツネを祭ります
㉑美術……。図書……

第347回の答えと当選者
《答え》トザンキヤク
《当選者》14通の応募でした。当選者は次の方々です。古館瞳(年金者組合) 成田明雅(年金者組合) 竹浪協子(ひだまり) 柳谷道広(全法務) 木村裕子(県教組)

いでした。子どもたちは砂の斜面を駆け上がっています。したが、私は休み休みようやく登り切りました。(笹村明日香・民医労)

私は登山しませんが

娘は予定を立てていました。すごいなあと思います。事故のない登山を願いたいです。(今晴美・ひだまり)

今年の夏

の暑さは異常。ちょっとばかりの庭の野菜も水不足でヘナヘナです。(木村裕子・県教組)

八戸に住んで5か月

八戸三社大祭を家族とともに見ました。90近い祖母も杖を椅子代わりにして見て

長女に二人目の孫

が生まれ、妻が手伝いに行ってきた半年！私は一人暮らしになってから半年になる！ずうっとこのままになるのではないかと不安になる今日この頃である。(中道博章・年金者組合)